

ASABA

バッテリー式ジベ処理機

葵

【aoi】

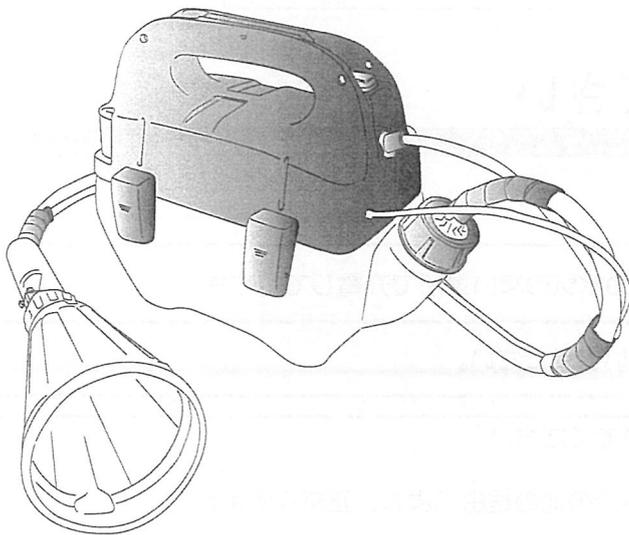
型式：BP-2Li-G

取扱説明書

<目次>

- 1 安全のために必ずお守りください・・・・・・・・・・①
- 2 梱包部品一覧・・・・・・・・・・③
- 3 未永くご使用いただくための重要事項・・・・・・・・・・③
- 4 各部の名称と製品に貼付されたラベルについて・・・・・・・・③
- 5 仕様・・・・・・・・・・④
- 6 作業を始める前に・・・・・・・・・・⑤
- 7 作業・・・・・・・・・・⑦
- 8 ご使用後のお手入れと保管・・・・・・・・・・⑩
- 9 点検・整備・・・・・・・・・・⑪
- 10 バッテリ、充電器の取り扱い・・・・・・・・・・⑬
- 11 故障と対策・・・・・・・・・・⑯

保証書（本紙裏表紙）



⚠ 危険

ご使用前に、必ず取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。
取扱説明書の指示内容を守ってください。
守られなかった場合は、死亡または重傷事故を起こす恐れがあります。

ASB 株式会社 **麻場**

〒381-8530 長野県長野市北長池1443-2

☎026 (244) 1317

URL : <http://www.asaba-mfg.com>

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この取扱説明書には、安全に使用していただくための要点を記してありますので、ご使用前に必ずよくお読みになり、正しくご使用ください。お読みになった後は、いつでも読める場所に保管してください。また、本書を汚損したり紛失した場合は、お買い上げの販売店にご注文いただき、大切に保管してください。

本書に記載した  の表示のある注意事項や、機械に貼られた  の表示のあるラベルは、人身事故等の危険が考えられる重要な項目です。よくお読みになり、必ずお守りください。また、 の表示のあるラベルが汚損したりはがれた場合は、お買い上げの販売店にご注文いただき、必ず所定の位置にお貼りください。

本書に記載した  の表示のある注意事項や、機械に貼られた  の表示のあるラベルでは、特に重要と考えられる取り扱い上の注意事項について、次のように3段階に分けて表示しています。

 危険	●その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになります。
 警告	●その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があります。
 注意	●その警告文に従わなかった場合、けがを負う恐れがあります。

尚、製品の故障や損傷につながる使い方に関する注意事項については、取扱説明書、機械に貼られたラベルともに、**重要** の表示を用いています。

本書に記載した図記号は、お守りいただく内容を説明しています。

 禁止（してはいけない）内容	 指示（必ず実行する）内容
---	--

1 安全のために必ずお守りください

★作業前

 危険	 ●感電の恐れがありますので、屋内の水気のない場所で充電してください。
	 ●濡れた手でバッテリーを取り扱わないでください。

 注意	 ●次に該当する方は、この製品を使用しないでください。 ◎酒気をおびた者 ◎過労、病気、薬物（農薬を含む）の影響その他の理由により、正常な防除作業ができない者 ◎妊娠中の者 ◎満15歳未満の者 ◎負傷中の者、生理中の女性等農薬による影響を受けやすい者
	 ●作業前に接続部のパッキンに脱落がないこと、各ネジ部にゆるみがないこと、ホースに亀裂、摩耗、破損のないこと等各部に異常がないことを確認してください。
	 ●安全性を損なう恐れがありますので、改造しないでください。
	 ●この製品を他人に貸与、または、譲渡する場合は、必ず取扱説明書を添付し、よく読んでから使用するよう指導してください。
	 ●薬液タンクに薬液を入れた状態で、自動車などで運搬しないでください。薬液が漏れる可能性があります。自動車などで運搬する時は、薬液を抜いてください。

重要

- お買い上げ後や使用前は必ずバッテリーの充電を行ってください。（詳しくは、P.14【10-1：充電のしかた】をお読みください。）

★農薬・薬液の取り扱い

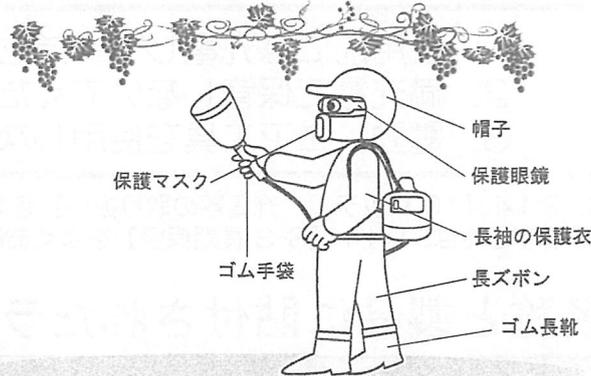
注意

- 野菜、果実、草花へのジベレリン処理以外には使用しないでください。
- やけど、火災の恐れがありますので、強酸性の薬品・塗料・シンナー・ガソリン・灯油・ベンジン等は、絶対に使用しないでください。
- 調合が適切でない薬液は、作物を傷めるだけでなく、人体にも有害になる恐れがあります。薬液調合の際は、薬液の使用上の注意をよく読み、正しく希釈してから使用してください。
- 農薬は、必ず専用の保管箱に鍵をかけて保管し、絶対に食品や食器とは一緒に保管しないでください。
- 農薬は、誤使用、誤飲の危険がありますので、絶対に別の容器に移し替えないでください。
- 農薬の空容器は、散布液調合時に必ずよく洗い、薬品メーカーの指示に従って、その都度正しく処分してください。空容器を洗った水は、薬害のない方法で処分してください。

★作業中

警告

- 薬品の吸入や付着による事故を防ぐため、帽子、保護眼鏡、保護マスク、ゴム手袋、長袖の保護衣、長ズボン、ゴム長靴を着用し、皮膚が露出せず危険のない服装で作業を行ってください。



安全作業のための服装

注意

- 水道、河川、水源地、池、沼、下水道などを汚染しないように、また、人体や散布対象物以外のものにかからないよう、風や周囲の状況に充分注意して作業を行ってください。
- 作業中、作業後にめまい、頭痛を生じ、または、気分が少しでも悪くなった時は、直ちに作業を中止し、医師の診察を受けてください。
- 薬液を入れた状態で薬液タンクは傾けたり、落下させないでください。
- 作業中に噴口部を清掃する場合は、顔面等に薬液がかかる恐れがありますので、必ず電源スイッチをOFFにし、噴口部を取り外してから行ってください。

★作業後と保管

注意

- 作業後は手足はもちろん、全身を石鹸でよく洗うとともに、目の水洗いとうがいをしてください。作業期間中は、衣服を毎日取り替えてください。
- 余った薬液及び、機械の洗浄水は、水道、河川、水源地、池、沼、下水道に流入して被害を及ぼさないよう、薬害のない方法で処分してください。
- 前回使用した薬液が、薬液タンク、ホース、動噴、噴口等の内部に残っていると薬害を起こす危険性があります。使用後は残っている薬液を十分に洗い流してください。
- 使用後は本機を充分洗浄し、風雨や直射日光に当たらない、風通しの良い、凍結しない、子供の手の届かない、平坦な場所で保管してください。

2 梱包部品一覧

最初に梱包部品が全部そろっているかどうか、輸送中の事故で破損している部品がないかを確認してください。もしも、欠品または破損などがありましたら、製品名・型式・製造番号と共にお買い上げの販売店にお知らせください。（製造番号はP.3【4 各部の名称と製品に貼付されたラベルについて】を参照してください。）

製品名：バッテリー式ジベ処理機 葵 [aoi]				型式：BP-2Li-G		
品名	数量	備考	品名	数量	備考	
本体部一式	1		背負いバンド	1		
バッテリー	1		背当てマット	1	袋付	
充電器	1		吸引機	1		
カップ	1	標準サイズ	取扱説明書	1	本書	
予備ヒューズ	1					

※保証書（末尾）はお客様が保証修理を受けられる際に必要となるものです。お読みになった後は大切に保管してください。

3 末永くご使用いただくための重要事項

本製品を末永くご使用していただくため、次の項目をお守りください。

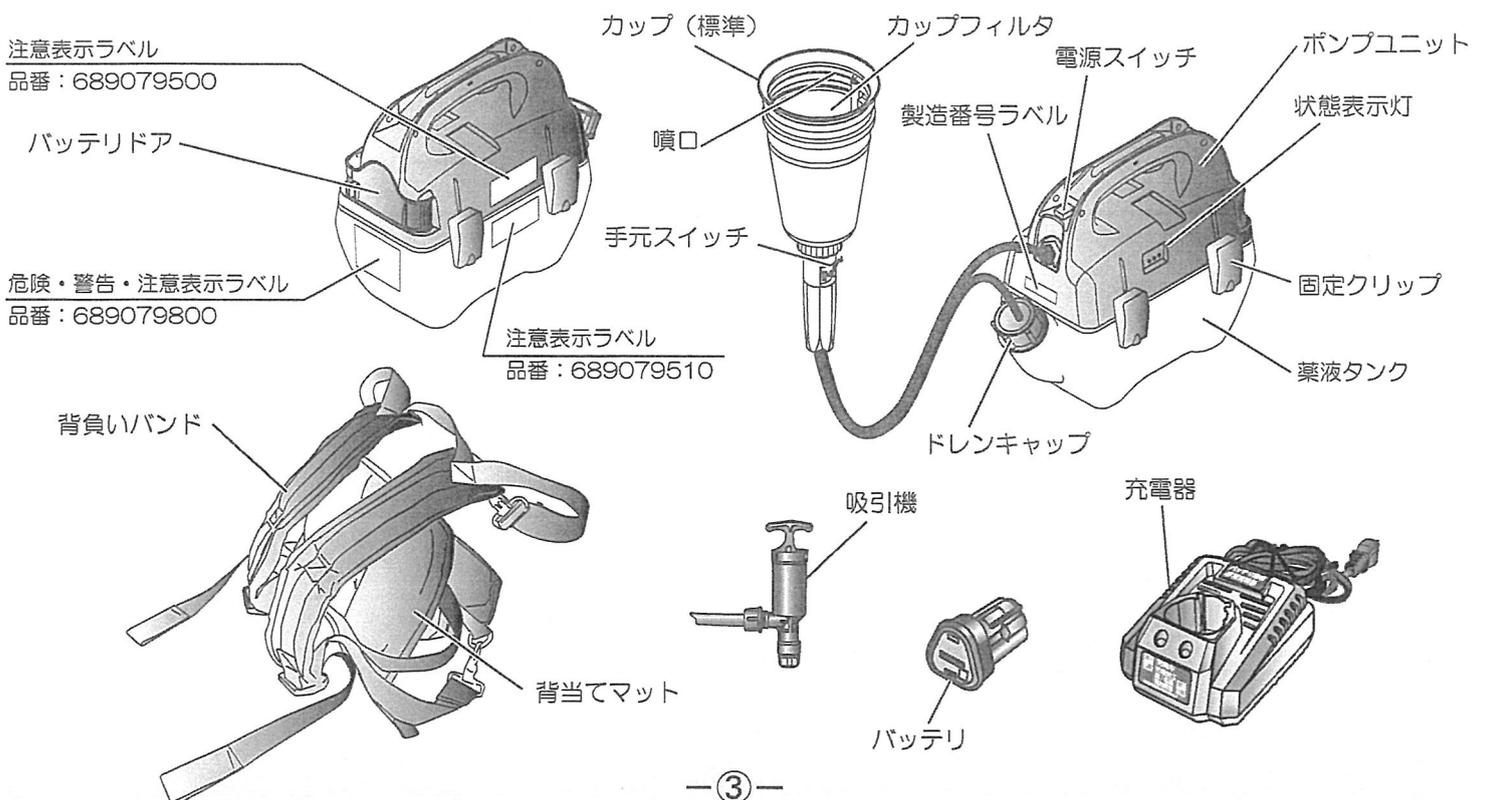
重要

1. 使用前には充電してください。
2. 満充電で保管しないでください。
3. 電動、エア工具を使用しないでください。

※充電のしかた等は、P.14【10 バッテリー、充電器の取り扱い】をお読みください。
 ※6ヶ月以上の長期保管する時は、P.11【8-3 長期保管】をよくお読みください。

4 各部の名称と製品に貼付されたラベルについて

- ラベル部はいつもきれいにして、傷つけないようにしてください。
- ラベルが汚損したり、はがれた場合は、お買い上げの販売店にラベル品番とともに注文し、新しいラベルに貼り替えてください。
- 新しいラベルを貼る場合は、汚れをふき取り、乾いた面にして、元の位置に貼ってください。



5 仕様

製品型式	BP-2Li-G		
本体寸法	H260mm×W320mm×D175mm		
質量	2.1kg (ホース/カップ/背負いバンド/背当てマット含まず)		
タンク容量	2ℓ		
ポンプ	型式	ダイヤフラムポンプ	
	最高圧力	0.15MPa	
	最大吸水量	0.75L/min	
モータ形式	10.8V直流モータ		
消費電流	0.3A		
吐出量	0.75L/min		
連続使用時間	約300分		
総吐出量	約225L		
バッテリー	型式	リチウムイオンバッテリー (MODEL:5130)	
	公称電圧	10.8V	
	公称容量	1.5Ah (16.2Wh)	
	質量	200g	
充電器	型式	バッテリー動噴専用充電器 (MODEL:5307.2)	
	入力電源	AC100V (50/60Hz 75VA)	
	出力電圧	DC12.5V	
	出力電流	3.0A	
	充電時間	約40分	
	質量	400g	
その他	過充電防止機能付		
付属品	カップ (標準)、背負いバンド、背当てマット (袋付)、吸引機、ヒューズ (富士端子 FGMB-PBF-125V-2A)、取扱説明書		
用途	野菜、果物、草花へのジベレリン処理。		

【カップ】

サイズ	本機付属品	オプション品 (別売)	
	標準	大	小
口径	105mm	170mm	78mm
高さ	190mm	200mm	190mm

※1) 上記の性能値はテスト値であり、保証値ではありません。使用環境により、その値は変化します。

※2) 本製品に搭載されているダイヤフラムポンプの特性として、薬液タンク内の水温により使用時間、総吐出量は変化します。(水温が低くなるに従って使用時間は短くなります。)

※3) 改良のため、予告なく仕様を変更することがあります。

6 作業を始める前に

6-1: バッテリーの充電

重要

- お買い上げ後最初に使用する時や、長期間（3ヶ月以上）使用しなかった時は、必ずバッテリーの充電を行ってください。（詳しくは、P.14【10-1：充電のしかた】をお読みください。）

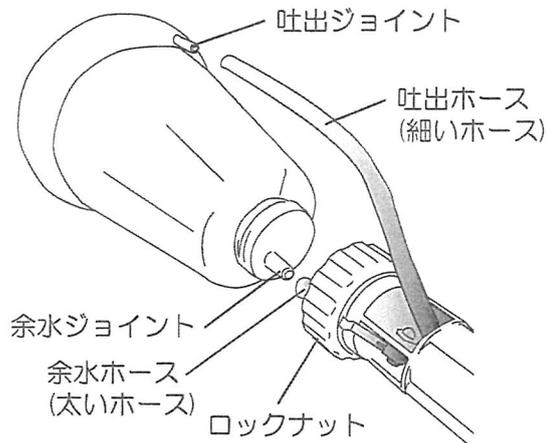
6-2: カップの取り付け

①カップの取り付け

- 1) 余水ホースをカップ底面の余水ジョイントに取り付けます。
- 2) ニギリ部をカップ底面と合わせて、ロックナットで固定します。
- 3) 吐出ホースをカップ上部の吐出ジョイントに取り付けます。

②カップの交換

- 4) 他サイズのカップ（オプション）を取り付ける場合は、1)～3)を逆の手順で行い、カップを取り外します。
- 5) 取り付けたいカップで1)～3)を行います。



重要

- 作業前にカップフィルタの有無を確認してください。

6-3: 薬液の調合、充填

電源スイッチがOFF（P.8スイッチ図参照）になっていることを確認し、調合した薬液を薬液タンクに充填します。

- 1) 薬液タンクには、薬液が2ℓ入ります。薬液タンクに目盛りが付いてますので、作業の目安としてください。

重要

- 2ℓを超える薬液は充填しないでください。

2) 薬液の充填方法

- 方法1：ドレンキャップを外し、ドレン口より充填。
方法2：ポンプユニット固定クリップを4箇所外し、ポンプユニットを薬液タンクより取り外して充填。



注意

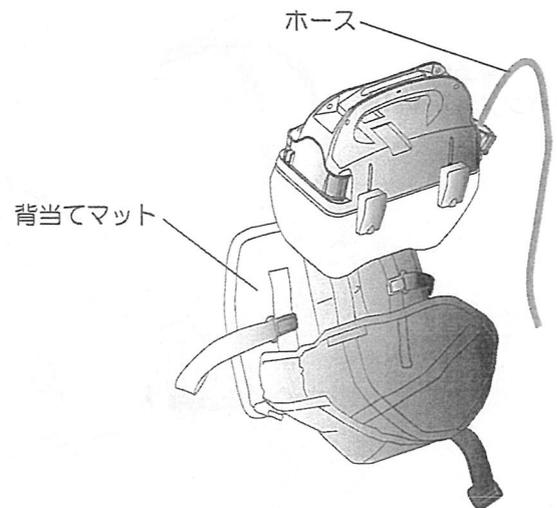
- 野菜、果物、草花へのジベレリン処理以外には使用しないでください。
- 強酸性の薬品・塗料・シンナー等は絶対に使用しないでください。
- 薬液の調合の際は、必ず薬品メーカーの指示に従ってください。調合が適切でない農薬は、作物を傷めるだけでなく、人体にも有害になることがあります。
- 薬液を入れ終わったら、ドレンキャップ、又は、ポンプユニット固定クリップを確実に取り付けてください。
- 薬液タンクに薬液を入れた状態で、自動車などで運搬しないでください。薬液が漏れる可能性があります。自動車などで運搬する時は、薬液を抜いてください。

重要

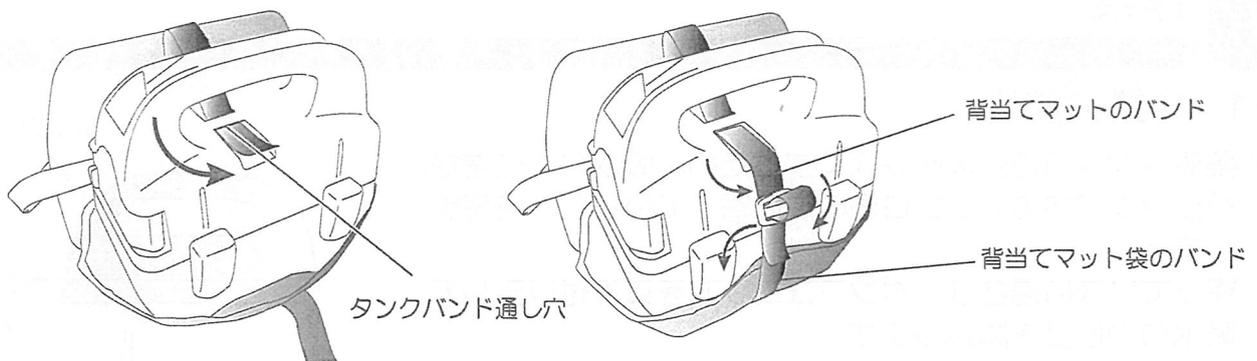
- 薬液を薬液タンクに入れる際は、別の容器でよく攪拌して、異物やゴミが混入しないよう注意してください。（薬液に異物やゴミが混ざっていると、故障の原因になります。）
- 土壌消毒剤、土壌薫蒸剤は、故障の原因になりますので、使用しないでください。

6-4: 背負いバンド/背当てマットの取り付け

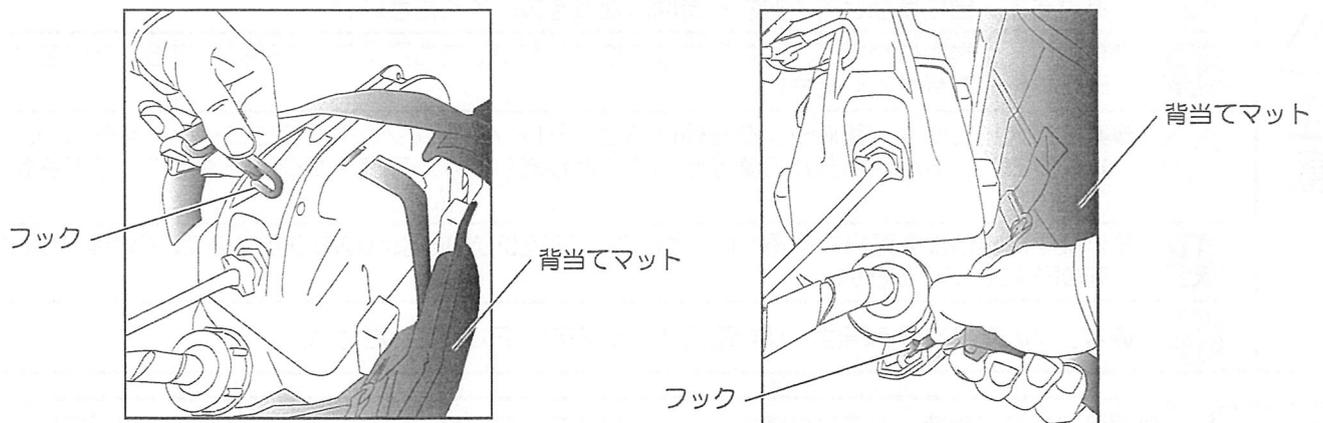
- 1) 本機を背当てマット袋内に入れます。
この時、ホースが出ている向きが利き手と同じ向きになるようにします。
(右図は右利きの人の場合です。)



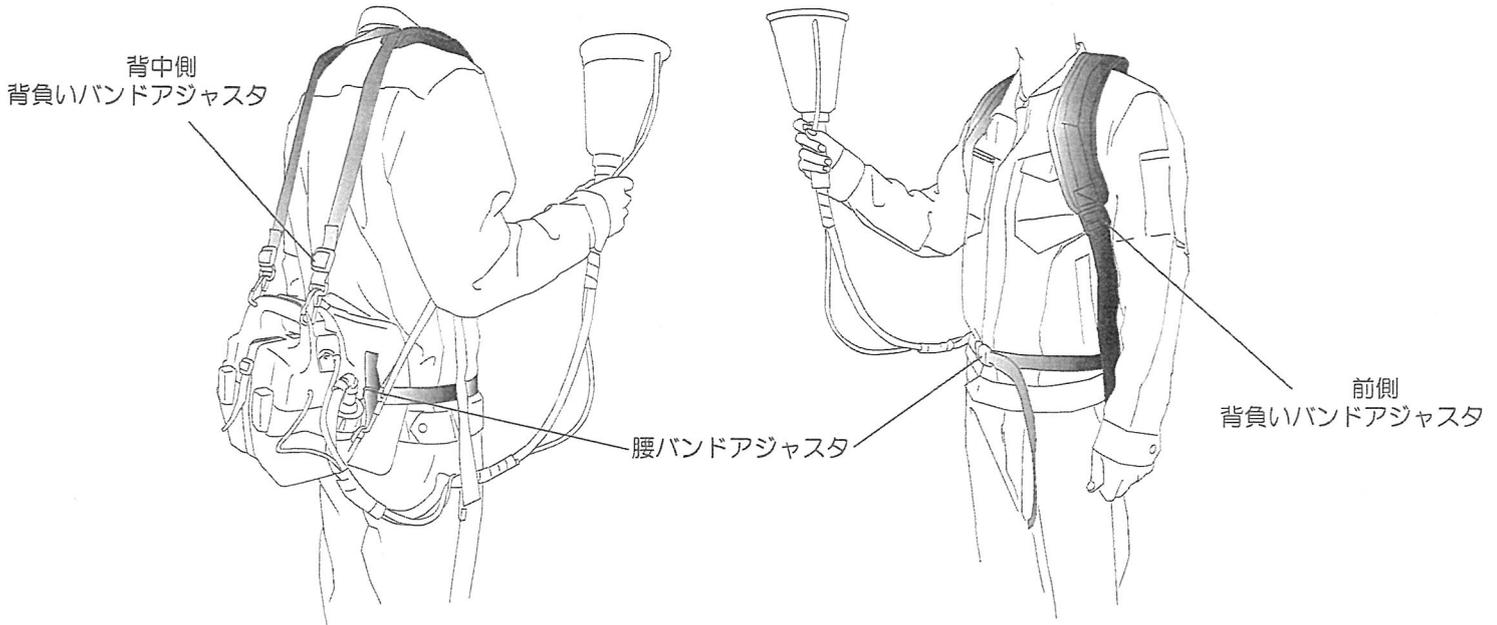
- 2) 背当てマットについているバンドを本機のタンクバンド通し穴に通して、本機を固定します。



- 3) 背負いバンドのフックを本機と袋に取り付けます。
本機に取り付ける際は背当てマットと逆側の穴にフックを取り付けます。



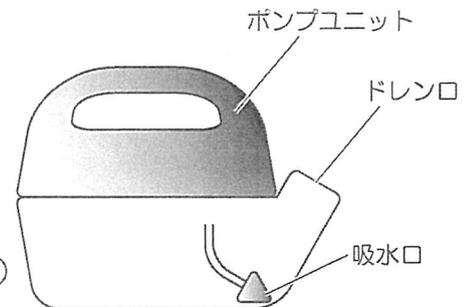
4) 本機を背負って、本機が腰に位置するよう各部分でバンドの長さを調整します。



7 作業

7-1: 作業の前に

- 1) 薬液タンク内の残液を少なくするため、吸水口の先端が、薬液タンク内のドレン口側の隅に寄っていることを確認します。
寄っていない場合は、ポンプユニットを取り付け直して、吸水口の位置を調節します。
(詳しくは、P.9【薬液が少なくなったら】をお読みください。)



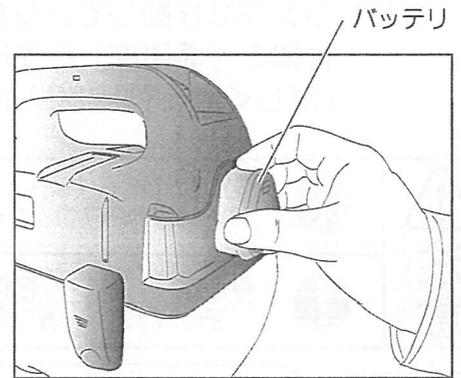
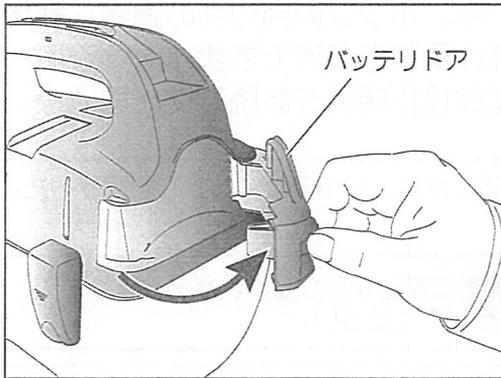
- 水道、河川、水源地、池、沼、下水道などを汚染しないように、また、人体や散布対象物以外のものにかからないよう、風や周囲の状況に充分注意して作業を行ってください。
- 薬液タンクに薬液を入れた状態で、自動車などで運搬しないでください。薬液が漏れる可能性があります。自動車などで運搬する時は、薬液を抜いてください。
- 作業中、作業後にめまい、頭痛を生じたり気分が少しでも悪くなった時は、直ちに作業を中止し、医師の診察を受けてください。
- 薬液を入れた状態で薬液タンクを傾けると、ドレンキャップやポンプユニットの空気穴や、ポンプユニットの結合部から薬液が出ることがあります。薬液タンクは傾けたり、落下させないでください。
- 作業中に噴口部を清掃する場合は、顔面等に薬液がかかる恐れがありますので、必ず電源スイッチをOFFにしてください。
- カップの交換を行う際は、必ず電源スイッチをOFFにしてください。

重要

- 薬液タンクに薬液、あるいは清水が入っていることを確認してください。薬液タンクが空の状態でもポンプの運転を続けるとポンプを損傷する恐れがあります。
- 冬季等、気温が低い状態で使用した場合は、連続運転時間が短くなったり、性能が充分発揮されない場合があります。

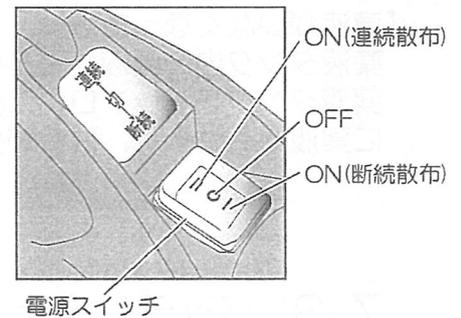
7-2: 作業開始

- 1) 製品本体側面のバッテリードアを開き、付属のバッテリーを奥まで差し込み、バッテリードアを閉めます。



- 2) 噴霧モードに合わせて電源スイッチをONにします。
カップを上に向けて、電源スイッチを操作してください。

- I) 断続散布：『断続散布』側に電源スイッチをONにしており、また手元スイッチを押している間のみ、噴口から散布します。
- II) 連続散布：『連続散布』側に電源スイッチをONにすることによって連続散布になります。その間、噴口から散布し続けます。



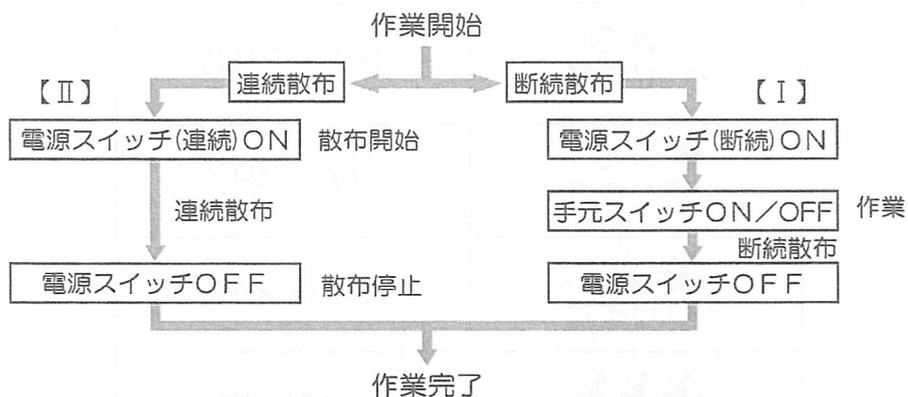
- 3) 散布作業が終了したら、電源スイッチをOFFにし、ドアを開けて、バッテリーを引き抜いてください。
バッテリーにロック機構はありませんので、しっかりと引き抜いてください。

※本機には過放電防止機能が搭載されていますので、バッテリー電圧が適正使用電圧外となったときに、モータが停止することがありますが、故障ではありません。充電作業を行ってから噴霧作業を行ってください。(P.9【7-3：バッテリーチェックのしかた】をご確認ください。)



【作業の流れ】

下図のように断続散布、連続散布機能を使い、作業を行います。



※1) 本機には圧カスイッチが搭載されていますので、吐出配管内の圧力が異常に高くなったとき、モータがON-OFFを繰り返すことがあります。故障ではありません。吐出配管内が高圧になる原因を究明してから噴霧作業を行ってください。
(P.17【11 故障と対策】をご確認ください。)

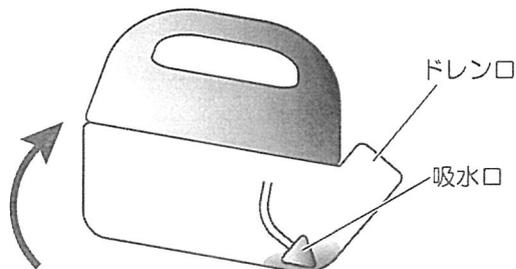
※2) ポンプは作動しているが噴霧していない時、ポンプ内部の弁の固着が考えられます。付属の『吸引機』を使用することで、弁の固着を解消できます。
(詳しくは、『吸引機』に同梱されている取扱説明書をお読みください。)

 注意		● 散布作業を中断し、移動または放置するときは、不用意な散布等を防止するため、電源スイッチを必ずOFFにしてください。
		● 作業中に噴口部を清掃する場合は、顔面等に薬液がかかる恐れがありますので、必ず電源スイッチをOFFにし、噴口部を取り外してから行ってください。

重要	● 電気系統が故障する恐れがありますので、薬液タンクからポンプユニットを取り外した状態で作業しないでください。また、ポンプユニット内部に噴霧しないでください。
-----------	---

【薬液が少なくなったら】

薬液タンク内の薬液が残り少なくなったときは、薬液タンクをドレン口側に少し傾け、吸水口側に薬液を寄せると、残液が少なくなります。



7-3: バッテリチェックのしかた

- 本機では、バッテリーのチェックをより正確に行うために、ポンプが運転状態でのバッテリー電圧を、状態表示灯で表示しています。
- バッテリーのチェックは本機側面の状態表示灯で行います。
(P.3【4. 各部の名称と製品に貼付されたラベルについて】参照)
- 薬液タンクに少量の水を入れ、P.7【7. 作業】に従ってポンプを運転状態にします。
(散布作業を行う時は、薬液タンクに薬液が入っている状態で散布状態にしてください。その際、薬液が人や作物にかからないよう注意してください。)
- 運転を開始してから数秒(5~6秒)後、状態表示灯の表示を確認してください。

状態表示灯の表示	残容量
 3灯全てが点灯	80 ~ 100%
 2灯が点灯	60 ~ 79%
 1灯が点灯	30 ~ 59%
 1灯が点滅	10 ~ 29%
 3灯全てが点滅	10%未満

8

使用後のお手入れと保管

8-1: 作業が終わったら



- 作業後は手足はもちろん、全身を石鹸でよく洗うとともに、目の水洗いとうがいをしてください。作業期間中は、衣服を毎日取り替えてください。
- 余った薬液及び、機械の洗浄水は、水道、河川、水源地、池、沼、下水道に流入して被害を及ぼさないよう、薬害のない方法で処分してください。
- 前回使用した薬液が、薬液タンク、ホース、噴口等の内部に残っていると薬害を起こす危険性があります。使用後は、残っている薬液を十分に洗い流してください。
- 使用後は本機を充分洗浄し、風雨や直射日光に当たらない、風通しの良い、凍結しない、子供の手の届かない、平坦な場所で保管してください。
※プラスチック部分は、直射日光に長時間されされると、著しく強度が低下することがあります。また注意ラベルも変色したり、はげやすくなったりしますので、保管には充分注意してください。

※充電のしかた等は、P.14【10.バッテリー、充電器の取り扱い】をお読みください。

※6ヶ月以上の長期保管する時は、P.11 8-3: 長期保管 を良くお読みください。

8-2: 薬液タンク内部の洗浄

重要

- 使用後は、薬液タンク内の残液を抜き、薬液タンク内面に付着した薬液を、清水できれいに洗い流してください。
- 再度、薬液タンク内に清水を入れ、戻りの水が外に排出されるようにドレンキャップを外した状態で、ポンプを数分(2~3分)運転し、ポンプ、ホース、噴口などの内部に残っている薬液も洗い流してください。その後、薬液タンク内の残液を抜き、再度ポンプを運転し、噴口から残液が出なくなったら、メインスイッチをOFFにしてください。特に、冬期の保管では、ポンプ内に薬液が残っていると、凍結により故障、破損の原因となります。自動車用不凍液または、ウィンドウォッシャ液を入れるか、噴口から残液が出なくなるまでポンプを運転し、残液が無くなったことを確認して、メインスイッチをOFFにし、保管してください。

※1 3灯全てが点灯の時は、バッテリーを本機にセットして、薬液タンクに水を入れ30分程度運転し、状態表示灯が2灯、または1灯の点灯であることを確認し、保管してください。

※2 3灯全てが点滅の時は、付属の専用充電器で15分程度充電して、充電器から取り外し、状態表示灯が1~2灯点灯することを確認し、保管してください。

重要

- 特に、冬期の保管では、ポンプ内に薬液が残っていると、凍結により故障、破損の原因となります。自動車用不凍液または、ウィンドウォッシャ液を入れるか、噴口から残液が出なくなるまでポンプを運転し、残液が無くなったことを確認して、メインスイッチをOFFにし、保管してください。
- 予備のバッテリーをご使用の場合にも、上記同様に保管してください。また、密閉容器内での保管はしないでください。
- 6ヶ月に1度は状態表示灯が1~2灯点灯することを確認してください。

8-3: 長期保管

長期間（6ヶ月以上）本機を使用しないときは、前記の手入れに加えて、下記事項を実施してください。

- 1) P.9 7-3: バッテリチェックのしかた に従いバッテリチェックを行います。
- 2) 状態表示灯を確認し、下記の表に従ってください。

状態表示灯の表示	残 容 量
 3灯全てが点灯	30分程度運転する
 2灯が点灯	そのまま 長期保管可能
 1灯が点灯	
 1灯が点滅	
 3灯全てが点滅	15分程度充電する

8-4: 保護機能

- 本製品には、バッテリーの温度が熱すぎる時に放電を停止する保護機能を搭載しています。保護機能が働き放電が停止した時は、本機側面の状態表示灯2灯が交互に点滅します。

状態表示灯の表示	状 態
 両端2灯が交互に点滅	保護機能が動作中

使用中、または始動時に保護機能が働いた時は、バッテリーの温度が熱すぎますので、冷めるのを待ってからご使用ください。

※バッテリーを本機より取り出した方が、より早く冷ますことができます。

※バッテリーを本機内にいれたまま冷めるのを待つ場合は、メインスイッチをOFFにしてください。

※保護機能の解除には、バッテリー温度が使用に適した温度まで下がることと、メインスイッチを一度OFFにしてから再度ONにする作業（パワーオンリセット）が必要です。

（メインスイッチをONのまま放置し、バッテリー温度が使用に適した温度まで下がっても、自動的に再始動する事はありません。）

9

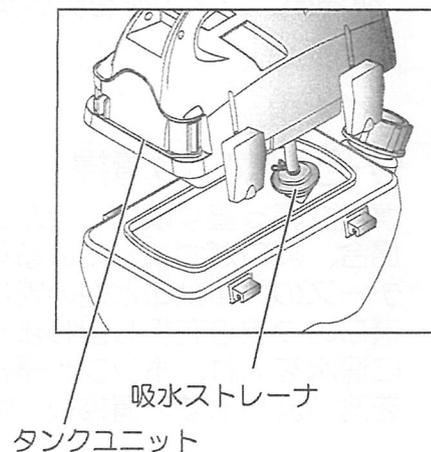
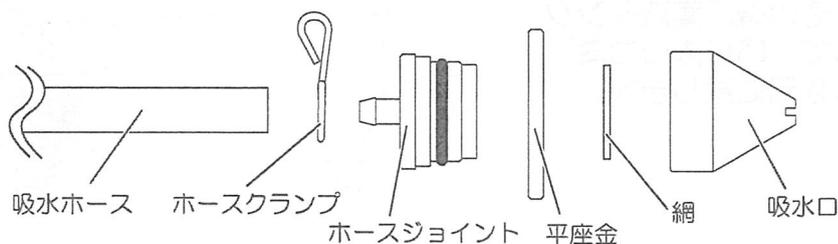
点検・整備

重要

- 常に機械はきれいにしておくよう心がけましょう。ネジ類の緩みや破損している箇所がないか調べてください。また、次に示す項目についても点検・整備を心がけるようにしてください。

9-1: 吸水ストレーナ

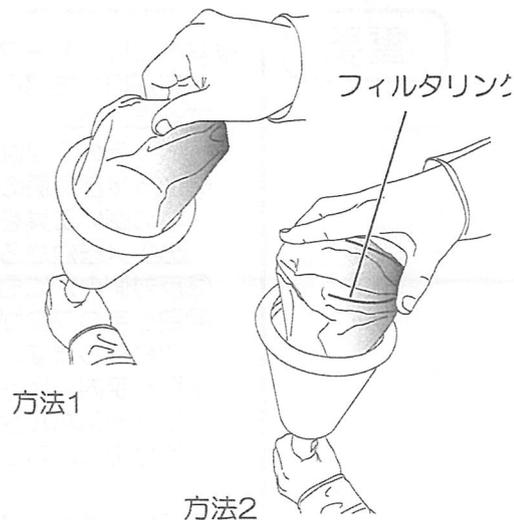
ポンプユニットを薬液タンクから外すと、吸水ストレーナがあります。何らかの原因で薬液タンク内に入ったゴミや塵が、ポンプに入らないためのフィルタです。吸水ストレーナが詰まると、噴霧状態が悪化したり、ポンプにも悪影響を与えますので、使用後は、薬液タンク底部の吸水ストレーナを清掃してください。吸水ストレーナのホースジョイントを持って、吸水口を緩めて外し、中の網を取り出して清掃してください。清掃後は、元の状態に戻してください。



9-2: カップフィルタ

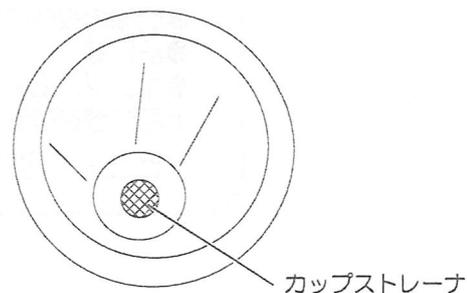
散布時の戻り液のゴミや塵を取り除くフィルタです。フィルタ内でゴミや塵が溜まるとカップ内に薬液が残りがちになります。いずれかの方法でフィルタ内のゴミや塵を取り除きます。

- 方法1：フィルタを引き出して、フィルタを清掃します。
 方法2：フィルタを保持しているリングごとカップ内から取り外して、フィルタを清掃します。
 清掃後、フィルタをカップ内に戻します。



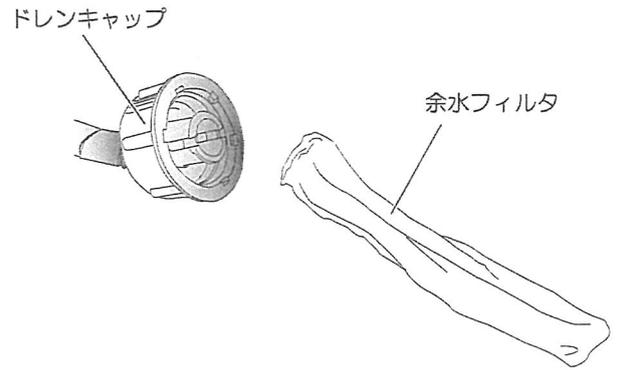
9-3: カップストレーナ

カップ底にストレーナがあります。余水ホースにゴミや塵が入らないようにするためのストレーナです。ストレーナが詰まると薬液がタンクに戻らず、カップ内に残りやすくなりますので、使用後はストレーナを清掃します。余水ホースをカップから外して、余水ホースのジョイントからストレーナをカップ内部に押し出すと、ストレーナの取り外しができます。清掃後はストレーナを元に戻します。



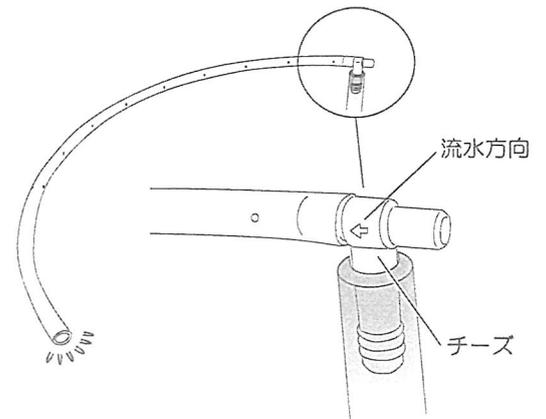
9-4: 余水フィルタ

ドレンキャップ内側に袋状のフィルタがあります。薬液タンク内に戻る薬液に混入したゴミや塵を、薬液タンクに入らないようにするためのフィルタです。フィルタ内にゴミや塵が溜まると薬液の戻りが悪くなります。フィルタを保持しているリングごとドレンキャップから取り外して、清掃します。清掃後、フィルタを戻します。



9-5: 噴口の清掃

噴霧が真っ直ぐ噴射しなかったり、しぶいてしまう場合、噴口がつまっている可能性があります。チーズの矢印刻印と逆の噴口を外して、細い針等で噴口のつまりを押し出します。その後、薬液タンクに清水を入れ、ポンプを運転して、噴口内のゴミを洗い流します。清掃後、噴口を元に戻します。

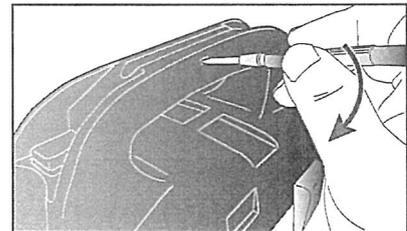


9-6: ヒューズの交換

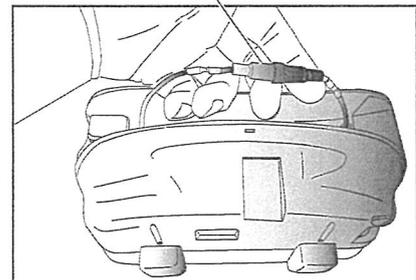
重要

●本機には、モータ、配線の保護のためヒューズを取り付けてあります。何らかの原因でヒューズが切れた場合は、ポンプユニット取っ手内部から以下の手順で新しいヒューズと交換してください。

- ①取っ手のフタは側面にツメで固定されています。
- ②取っ手部側面の穴に精密マイナスドライバー等の細い工具を斜めに差し込み、てこでフタのツメを穴から外します。
- ③反対側の穴にも②と同じことを行います。
- ④取っ手のフタが持ち上がるので、フタを取り外します。
- ⑤取っ手内にヒューズホルダがあるので、ヒューズホルダから切れたヒューズを取り出し、新しいヒューズと交換します。



ヒューズホルダ



また必ずヒューズが切れた原因を究明して、その箇所を修理してから作業を行ってください。
※ヒューズが切れる原因としては次のことが挙げられます。

- 農薬によるポンプの固着
- 配線の被覆破れ
- 誤配線
- ポンプ、配管のゴミ詰まり

上記内容を確認していただいても、ヒューズが切れるときは、販売店にご相談ください。

ヒューズ型式：富士端子 FGMB-PBF-125V-2A

10

バッテリー、充電器の取り扱い

10-1：充電のしかた

バッテリーを充電するときは、電源スイッチをOFFにしてから、バッテリーを本機から取りだして充電を行ってください。

- 充電器の電源プラグを、家庭用コンセント（AC100V）に差し込んでください。
（このときランプは点灯しません。）
- バッテリーを、充電器のコネクタ部に最後まで差し込んでください。
- 充電器のランプが緑色に点滅し、充電を開始します。
- 約40分後、緑色のランプが点滅から点灯に変わり、充電が終了となります。
（充電器ランプが点滅から点灯に切り替わるまでの時間は、放電状態により異なります。）
- 充電終了後は、バッテリーを充電器から外し、充電器の電源プラグをコンセントから外してください。



10-2：充電器の赤色ランプが点灯した場合、点滅した場合

A：赤色ランプが点灯した場合

直射日光下に放置、または、使用直後などバッテリーが熱すぎたり（40℃以上）、冬期保管中など、冷えすぎたり（0℃以下）した場合は、バッテリー保護の為、充電が開始されません。充電待機状態ですので、バッテリーの温度が適切になれば、自動的に充電に移ります。

B：赤色ランプが点滅した場合

充電ができない状態です。バッテリーの取付部分、または、バッテリーの端子が汚れていないかを確認し、汚れていれば綿棒などで汚れを拭き取ってください。

バッテリーの取付部分、または、バッテリーの端子部に異物が入っていないか確認し、異物が入っていたら、取り除いてください。

上記、2点をご確認いただいた上で状態が改善されない場合は、充電器または、バッテリーの異常と考えられますので、販売店にご相談下さい。

10-3：充電器の使用条件

定格入力電圧	AC100V
入力周波数	50/60Hz
出力電圧	DC12.5V
使用時温度	0℃～+40℃
使用環境	屋内使用のみ

10-4: バッテリー、充電器取り扱い上の注意

(1) 使用環境及び条件

 危険		<ul style="list-style-type: none"> ● バッテリー・充電器を安全に使用するために、使用前に必ずこの取扱説明書に記載されている内容をよくお読みください。また、お読みいただいたあとは大切に保管し、必要なときにお読みください。なお、取扱説明書が十分に理解できない場合は、販売店にご相談ください。
		<ul style="list-style-type: none"> ● このバッテリーと充電器は、本製品専用です。充電は、必ず付属の充電器を、指定された電源に接続し、正しく行ってください。他の製品・用途には使用しないでください。バッテリーを電源コンセントや自動車のシガレットライタの差し込み口に、直接接続しないでください。感電、漏液、発熱、破裂、発火する原因となります。
		<ul style="list-style-type: none"> ● 水に漬けたり、水をかけたり、雨中にさらすなど、液体で濡らさないでください。また、湿気が多い場所で充電をしないでください。異常な電流、電圧でバッテリーが充電され、感電、漏液、発熱、破裂、発火する原因となります。
		<ul style="list-style-type: none"> ● 火やストーブなどの熱源の側や、直射日光の強い所、炎天下の車内などに放置したり、熱源の近くで充電を行わないでください。充電ができなかったり、異常な充電が行われたりして、バッテリーの発熱破裂、発火の原因となります。また、バッテリーを火の中に投入したり、加熱しないでください。バッテリーの破裂などによって内部の有機溶媒が飛散する原因となり危険です。
		<ul style="list-style-type: none"> ● 分解したり、改造しないでください。バッテリーには、危険防止のため保護装置が組み込まれています。分解・改造などによってこれらを損なうと、感電、漏液、発熱、破裂、発火の原因となります。
		<ul style="list-style-type: none"> ● このバッテリーは、プラス・マイナスの向きが決められています。充電器や本製品に接続するときに、うまく繋がらない場合は、無理に接続しないでください。プラス・マイナスを逆に接続すると、バッテリーを漏液、発熱、破裂させる原因となります。
		<ul style="list-style-type: none"> ● このバッテリーには、内部のガスを放出するため、ガス抜き機構を備えていますので、気密性の高い容器などに入れないでください。バッテリーを破損させる原因となります。
		<ul style="list-style-type: none"> ● バッテリーに強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。バッテリーの漏液、発熱、破裂の原因となります。
		<ul style="list-style-type: none"> ● バッテリーや、充電器の接続端子部に金属類が接触しないように、ピンや針金、金属製のネックレス等と一緒に持ち運んだり、保管しないでください。また、ゴミを付着させないでください。バッテリーのショート、漏液、発熱、破裂、発火の原因となります。
		<ul style="list-style-type: none"> ● 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 電子レンジや高圧容器に入れないでください。発熱、破裂、発火の原因となる可能性があります。 	

 警告		<ul style="list-style-type: none"> ● 充電器の電源コードを引っ張ったり、電源プラグを破損するようなことはしないで、必ず電源プラグを持って抜き差ししてください。ケース、電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みが緩い時は使用しないでください。電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。感電、発熱、破裂、発火の原因となります。
		<ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグのホコリは、定期的に取りってください。また、湿気やホコリが多い場所に置かないでください。感電、発熱、破裂、発火の原因となります。
		<ul style="list-style-type: none"> ● 充電器を使用するとき以外は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。感電、ショート、発火の原因となります。
		<ul style="list-style-type: none"> ● バッテリーの空気口をふさがらないでください。空気の風通しを妨げることにより、発熱、破裂、発火の原因となる可能性があります。
		<ul style="list-style-type: none"> ● 製品を使用しない場合、電池の残容量が無くなった場合、長期間製品を使用しない場合には、バッテリーを製品から外して、なるべく乾燥した冷所（ただし0℃以上）で保管してください。不意の始動でケガを負ったり、バッテリーを漏液させる原因となる恐れがあります。また、サビの発生やバッテリーの性能や寿命を低下させることがあります。
		<ul style="list-style-type: none"> ● バッテリーは乳幼児の手の届かない所に保管してください。また、ご使用時に乳幼児が、充電器や機器からバッテリーを取り出さないように注意してください。不用意な取扱は危険を伴います。

 注意		●0～40℃の温度範囲で使用してください。この温度範囲外では、電池の漏液、発熱、破裂の原因となるおそれがあります。また、バッテリーの性能や寿命を低下させることがあります。
		●充電器が異常や不具合と思われたときは、直ちに電源プラグを電源から外してください。感電、発熱、発火の原因となります。
		●充電器に物を載せたり、落下し安いところに置かないでください。充電器の破損、落下による感電、発熱、発火の原因となるおそれがあります。
		●お買上げ後、初めてご使用場合にサビや発熱、その他異常と思われたときは、使用しないで、お買上げの販売店へご相談ください。

重要

- バッテリーの端子が汚れたときは、乾いた布で拭き、端子をきれいにしてからご使用ください。機器との接触が悪いと、電源が切れたり充電されなくなったりすることがあります。

(2) 異常時の処置

 注意		●このバッテリーは、内部に有機溶媒を保持しています。このバッテリーの液が目に入ったときは、失明の原因となりますので、こすらずにすぐにきれいな水で充分洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。また、このバッテリーの液が、皮膚や衣服に付着した場合は、皮膚に障害を起こす原因となりますので、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の治療を受けてください。
		●規定の時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。バッテリーの漏液、発熱、破裂、発火の原因となります。
		●このバッテリーが漏液したり、異臭がしたり、変色・変形、その他今までと異なることに気が付いたときは、直ちに火気より遠ざけ、使用しないでください。漏液した有機溶媒に引火し、破裂、発火する可能性があります。

(3) 廃棄時の処置

- ご使用済のバッテリーは、端子間をショートしないようにしてから、販売店へお渡しください。

不 具 合 事 項		原 因	対 策	
○電源スイッチ、手元スイッチを操作してもポンプが作動しない		<ul style="list-style-type: none"> ●配線コネクタの外れ ●配線の断線 ●電源スイッチ、手元スイッチの故障 ●モータの故障 ●ポンプの凍結、異常 ●ヒューズ切れ ●バッテリーの電圧低下 	<ul style="list-style-type: none"> ◎コネクタを正しく接続する ◎販売店にご相談ください ◎販売店にご相談ください ◎販売店にご相談ください ◎販売店にご相談ください ◎ヒューズを交換する。交換後すぐにヒューズが切れるときは、販売店にご相談ください。 ◎バッテリーを充電する。 (充電しても改善しない場合は、バッテリーを交換する) 	
○ポンプは作動しているが噴霧しない ○噴霧するが、霧に勢いがない または、噴霧圧が低い		<ul style="list-style-type: none"> ●噴口のかみり (P.13参照) ●薬液タンクに液がない ●配管のかみり ●配管の破れ、亀裂 ●配管の外れ、つぶれ ●吸水ストレーナののかみり (P.12参照) ●ポンプ吸吐出弁の固着 ●バッテリーの電圧低下 (バッテリー表示灯が1灯点滅) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎噴口を清掃する ◎薬液を補給する ◎販売店にご相談ください ◎販売店にご相談ください ◎販売店にご相談ください ◎吸水ストレーナを外して清掃する ◎吸引機を使用して固着を剥がす ※吸引機付属の説明書をご参照ください ◎バッテリーを充電する (充電しても改善しない場合は、バッテリーを交換する) 	
○噴霧中モータがON-OFFを繰り返す		<ul style="list-style-type: none"> ●噴口のかみり ●配管のかみり 	<ul style="list-style-type: none"> ◎噴口を清掃、または交換する ◎販売店にご相談ください 	
○薬液の戻りが悪い		<ul style="list-style-type: none"> ●ストレーナ、フィルタのかみり (P.12,13参照) ●配管のかみり ●配管の外れ、つぶれ 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ストレーナ、フィルタを清掃する ◎販売店にご相談ください ◎販売店にご相談ください 	
○連続噴霧ができない		<ul style="list-style-type: none"> ●圧力スイッチの異常 ●バッテリーの電圧低下 	<ul style="list-style-type: none"> ◎販売店にご相談ください ◎バッテリーを充電する。 (充電しても改善しない場合は、バッテリーを交換する) 	
○充電時の不具合	充電しない	赤色ランプ点灯	●バッテリーが高温・低温である	◎しばらく待ってから再度充電する
		赤色ランプ点滅	<ul style="list-style-type: none"> ●コネクタ電極の接続不良 ●配線の断線 ●充電器の異常 ●バッテリーの異常 	<ul style="list-style-type: none"> ◎接続端子が汚れている、または、異物が入っていないか確認し、汚れ、異物を取り除いてください。上記内容を確認していただいても改善されない時は、販売店にご相談ください。 ◎販売店にご相談ください ◎販売店にご相談ください ◎販売店にご相談ください
	充電はしているが容量が回復しない	<ul style="list-style-type: none"> ●充電時間の不足 ●バッテリーの過放電 または寿命 ●充電器の異常 	<ul style="list-style-type: none"> ◎バッテリーを充電する ◎数回充放電を繰り返し好転しない場合は、バッテリーを交換する ◎販売店にご相談ください 	

メモ

